

新訂版

トピックによる 日本語総合演習

テーマ探しから発表へ

中級後期

安藤節子・佐々木薫・赤木浩文・田口典子・鈴木孝恵

編著



スリーイーネットワーク

新訂版

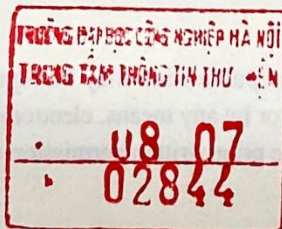
トピックによる 日本語総合演習

テーマ探しから発表へ

中級後期

安藤節子・佐々木薫・赤木浩文・田口典子・鈴木孝恵

編著



スリーエーネットワーク

© 2001 by Ando Setsuko, Sasaki Kaoru, Akagi Hirofumi, Taguchi Noriko and Suzuki Takae

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the Publisher.

Published by 3A Corporation.

Trusty Kojimachi Bldg., 2F, 4, Kojimachi 3-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan

ISBN978-4-88319-787-3 C0081

First published 2001

Revised Edition 2009

New Edition 2019

Printed in Japan

はじめに

この教材は、勉学・研究のための日本語運用力を養成する目的で作成したものです。学習者が「自分でテーマを探して調査、考察、発表をする」ことを目標とし、そのプロセスで情報収集、情報伝達、調査分析、原稿作成、発表などのスキルが養われます。トピックはそのための手段と位置付けていますが、さまざまな背景、専門分野の人たちが一緒に学べるように、多様な側面を包括したトピックを取り上げるようにしました。

内容中心で産出型の授業は主に上級レベルに多くの事例が見られます。専修大学国際交流センターでも1997年1月から上級コースにおいて先ず実施しました。運用力の養成と同時に学習者が達成感を持ち、動機づけにつながることを確認されたので、同様のことをできるだけ早い段階から実施したいと考え、その試みを開始しました。1つのトピックについて内容理解を深めながら四技能を有機的に統合して活動するためには、まとまった長さの情報構造のある文章の読解、産出の力が必要ですが、トピックの抽象度や課の構成などを調整することにより初級終了段階からそれが可能であることが実証されました。

「トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ」は中級前期、中級後期、上級の3レベル3冊の教材となっています。上級は、教材の他に生のデータと記事などの資料を併せて使っていただくようになっています。

出版物としてまとめる段階で、佐々木倫子先生に貴重なアドバイスをいただきました。この教材を使った授業において、学習者とのインタラクションを通して「学習者は非常に大きな可能性を持っている」ことに改めて気付かされ、教師の役割を捉えなおす機会となりました。

改訂版の出版から間もなく10年を迎えるにあたり、グラフデータを主としてアップデートを行い、新訂版を出すことになりました。編集を担当してくださったスリーエーネットワークの田中綾子さん、中川祐穂さんに深く感謝いたします。

著者一同

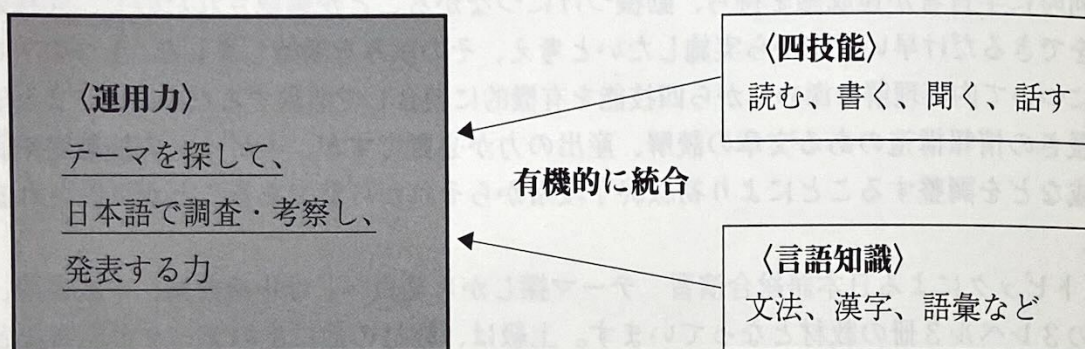
この本を使う方へ

I. 概要

【目的】

この教材で、学習者は自国・自分自身のことについて他国（日本など）との比較を通して意識的に捉えなおし、自分の国のことや自分の考えを日本語で発信できるようになることを目標として授業活動を行います。現代日本の事情はそのきっかけとして提供しています。

一連の活動のプロセスで次のような「調査発表のための日本語運用力」を養うのが本書の目的です。



【トピックについて】

初期段階ではトピックについて広く浅く情報入手や情報交換を行い、段階を追って学習者が各自のテーマを探って調査発表を実施していきます。学習者の背景や興味・専門は多様であると予想されるので、国を越えて共有できる今日的话题であり且つ多様な側面を包括したものを選ぶようにしました。この本では「教育」「言葉」「コミュニケーション」「昔話」「住宅」の5つを取りあげています。

【対象者】

中級前期を終了した段階で調査発表のための日本語運用力を養成したい人。

【本書の構成】

各トピック：詳しくは次の項を見てください。

調査・発表のための手引き：

1. グラフの読み方

早い段階でグラフの読み方・説明の仕方を練習する。各トピックで、情報を得たり、調査結果を発表するときにグラフを使う。

2. 文体

音声言語と文字言語の違いに注目する。原稿を書く際、特に意味がある場合以外は、文体を統一するよう指導する。

3. アンケート調査

1) アンケート調査計画

アンケート調査を行うときの方法や手順の参考にする。

2) アンケートシートの例

学習者が自分のテーマに沿ってシートを作る際の参考にする。

3) アンケートのしかた

アンケートを実施する際の手順と表現を学ぶ。

4) アンケート調査の発表

まず、アンケート調査の導入時に示して、学習者が活動の流れを把握し構成を考えるための参考とする。アンケート実施後、学習者はこの資料を参考にして、調査した結果を伝えられるようにまとめ、発表の表現を学ぶ。

4. インタビュー調査

1) インタビュー調査計画

インタビュー調査を行うときの方法や手順の参考にする。

2) インタビューの例

インタビューの内容を考えるときの参考にする。

3) インタビューのしかた

インタビューを実施する際の手順と表現を学ぶ。

4) インタビュー調査の発表

学習者はこの資料を参考にして、調査した結果を伝えられるようにまとめ、発表の表現を学ぶ。

5. 文献調査

1) 文献調査計画

文献調査を行うときの方法や手順の参考にする。

2) 文献調査のしかた

文献調査を実施する際の手順と方法を学ぶ。

3) 文献メモの例

文献についてまとめる際の参考にする。

4) 文献調査の発表

学習者はこの資料を参考にして、調査した結果を伝えられるようにまとめ、発表の表現を学ぶ。

6. 評価表

教師が評価をするときの目安にする。また、個々の活動に入る前にこの表を学習者に示すと、注意点やポイントを伝えることができる。

1) アンケート調査発表評価

2) インタビュー調査発表評価

3) 文献調査発表評価

4) 文集作り評価

【各トピックの構成と目的、養成されるスキル】

新しいトピックに入るときに、活動の流れとそれによって養成される運用力について学習者が理解しておくよう、教師から学習者に説明します。

例 1: 導入 → グラフ情報 → 読み物 → アンケート調査 → 口頭発表

例 2: 導入 → グラフ情報 → 読み物 → 書物などの調査 → 文集作り

また、調査発表に入る前に使用するシート類を見せながら手順を説明し理解を促します。

〈はじめに〉

各トピックの導入部。トピックに関連して、知っていること、知りたいことなどについて話し合う。トピックを身近に感じ、続く活動の動機づけとする。

・ディスカッション

〈情報 1 : グラフ〉

グラフを理解し、内容を説明する。
「調査・発表のための手引き」の「グラフの読み方」を使い、前もって練習しておく。
トピックに関して広く一般情報を得る。(学習者間で共通の情報)

・グラフを読む
・グラフを説明する
・説明を聞く

〈情報 2 : 読み物〉

トピックのある側面を取りあげた文章から情報を得る。
(学習者間で共通の情報)

・精読
・関連語彙の習得
・表現の習得

〈調査発表〉

これまで得た情報を基にして、個人またはグループで各自のテーマを絞り、調査発表を行う。

①日本語で調査する（次のいずれか）

- ・アンケート
- ・インタビュー
- ・文献調査など

②発表の準備をする

- ・原稿を書く
- ・グラフなどの視覚資料を作る

③発表する（次のいずれか）

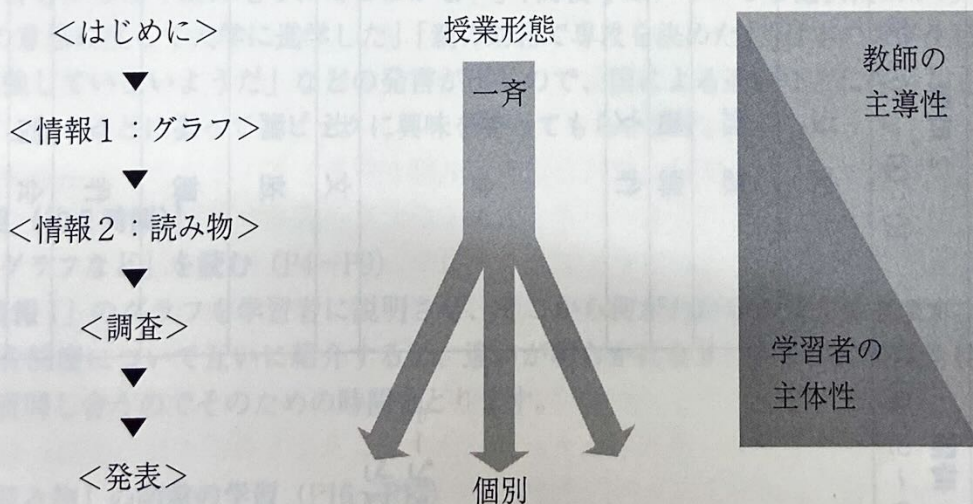
- ・口頭発表と質疑応答
- ・文集作り

学習者が主体的に動き、教師はその活動をサポートする。調査発表には日本人の参加や協力を得るとよい。

- ・アンケート調査
シート作成
実施
結果考察
- ・インタビュー調査
質問・聞き取り
まとめ
- ・文献調査
資料探し
結果考察
- ・原稿作成
- ・発表（口頭または文章）
- ・質疑応答
- ・文集作成など
- ・フィードバック

【学習者と教師】

「読み物」までは一斉授業ですが、「調査」「発表」の段階では学習者一人一人の目的や興味に合った個別のテーマ・内容で授業が進められます。教師は前面から裏方に移行し学習者のサポートをします。教師の役割は学習者が自律的な取り組み方を伸ばせるよう指導することです。



【コーススケジュールの例—①教育—】

太枠内が『新訂版トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ』の部分です。

Ⅱ. コーススケジュール
【時間数の目安】

1 トピック：15 ～ 21 時間

日数	1 時限 9：00～9：50	2 時限 10：00～10：50	3 時限 11：00～11：50	4 時限 12：00～12：50	予習など
1 日目	漢字、 シヨーストスピーチ、 外来語、など	文 法	* グラフの読み方 はじめに		クラスに 臨む前に 予習をす る
2 日目		速 読	情報 1：グラフ 情報 2：言葉		
3 日目		聴 解	情報 2：表現		
4 日目		作 文	情報 2：読み物		
5 日目		会 話	アンケート調査の導入（アンケート調査と発表 の方法について説明、テーマ決定） * アンケート調査計画 * アンケート調査の発表 * アンケートシートの例 アンケートシート作成		
6 日目		文 法	アンケートシート完成		
7 日目		速 読	* アンケートのしかた アンケート実施		
8 日目		聴 解	* アンケート調査の発表 アンケート調査のまとめ		
9 日目		作 文	原稿書き、発表準備・練習 * アンケート調査の発表		
10 日目		会 話	発表		
11 日目		文 法	フィードバック		

* 巻末の「調査・発表のための手引き」より